

「平成31年度に実施した仕事」の振り返りシート（A：裁量有）

記入日 令和 2 年 3 月 31 日

事業名称		街路灯管理事業費〔街路灯管理事業〕										
予算科目	款	8	土木費	項	2	道路橋りょう費	目	1	道路維持費	事業番号	2	
事業の種別	<input checked="" type="checkbox"/> 市単独 <input type="checkbox"/> 補助対象 <input type="checkbox"/> 市が実施することが法律等で義務付けられているもの(市の上乗せあり)											
担当部署・課長名	土木 課 管理 係								課長名	寺島 由紀夫		
この仕事は、どの【施策】の課題を解決するための手段ですか。									施策番号	4 - 4		
【施策名】 基本計画（道路・交通の整備）									総合計画書（ページ）	89ページ		
この仕事の目的	① 誰（何）を対象にしていますか。					① ①の対象数や量を、あらわすもの（対象指標）						
	・市道等の沿線住民及び通行者 →					・市道等の通行利用者全体 ・街路灯設置数 6110灯						
	② ①をどのような状態にしたいのですか。[簡潔に]					② ②の状態になった数・量をあらわすもの（成果指標）						
夜間に市道等を利用する通行者の安全を確保する					・適切な稼働環境にある街路灯数 →							
③ そのために何をしましたか。					③ ③をどのくらい行いましたか（活動指標）							
・街路灯の修繕、新設 ・公共性があると認められた道路又は通路の照明を目的とした屋外灯で、自治会等が維持管理をする街路灯の電気料金を補助する					①ランプ、灯具の交換等 23箇所 ②街路灯新設 35箇所（市新設12箇所 開発事業等23箇所） → ③劣化した独立柱の建て替え及び塗り替え 10箇所 ④街路灯電気料金補助金の交付 22団体							
指標の推移			単位	過去2年間の実績		当該年度		成果目標				
				平成29年度実績	平成30年度実績	平成31年度実績		令和2年度目標	令和3年度目標			
	対象指標	①の数値	灯数	6,015	6,075	6,110		/				
	成果指標	②の数値	%	100.0	100.0	100.0						
	目 標	②の目標値	%	100.0	100.0	100.0						
目標値設定の考え方 街路灯の適切な稼働環境の管理												
活動指標	③の数値	箇所団体	① 0 ② 29 ③ 4 ④ 22	① 3 ② 60 ③ 9 ④ 22	① 23 ② 35 ③ 10 ④ 22		/					
3 経費	事業費（実績）		円	53,405,958	56,027,773	58,095,897		※人件費の所要人数は、基本的には「人」で表わしますが、一時的な仕事については時間数での表示も可とします。その場合単位を「時間」に変更してください。 人件費（再任用職員以外） 年間単価は、8,310,000円 時間単価は、4,300円 で計算してください。 【算出根拠】平成30年度決算数値。 （退職手当組合負担金、共済費も含む。）				
	財源	一般財源	円	53,405,958	56,027,773	58,095,897						
		特定財源	円	0	0	0						
		（うち受益者負担）	円	0	0	0						
	人件費（目安）	所要人数(再任用以外)	人	0.3	0.3	0.3						
		所要人数(再任用)	人									
職員人件費(再任用以外)		円	2,475,900	2,473,200	2,493,000							
職員人件費(再任用)	円											
事業費+人件費		円	55,881,858	58,500,973	60,588,897							
4 環境変化等	(1) 開始年度		不明 年度									
	(2) 環境の変化 近年は宅地開発事業の増加に伴い、街路灯設置数も増えている。また、防犯強化の観点から新設及び照度アップの要望が多く寄せられている。											

事業名称	街路灯管理事業費〔街路灯管理事業〕			
担当部署・課長名	土木	課	管理	係 課長名 寺島 由紀夫

5 市民等の意見
この仕事に関して、平成31年度中に寄せられた市民・議会等の意見、また、市民・サービス利用者等の実態やその意識について
例年、夜間における市道での犯罪を未然に防ぐため及び市民が安全に通行できるための役割として、街路灯に対する様々な要望（新設・照度アップ等）がある。また、近年は私道への街路灯新設要望も増えてきている。一方で、街路灯の新設の際、照明の影響を受ける沿線の住民からは、設置に反対する意見もある。
また、LED化により蛍光灯との光り方の違いによる照度アップ・遮光・角度変更の要望がある。

6 市民協働
(1)この仕事の実施にあたり、市民協働に取り組みましたか。取り組んだ場合、取組手法欄の種類から番号を選択し、取組手法欄に番号を記載してください。（複数回答可）
 取り組んだ
 取り組まない
取組手法：
【取組手法の種類】
①共催 ②実行委員会・協議会 ③事業協力 ④事業委託 ⑤補助・助成
⑥情報提供・情報交換（広報媒体： ） ⑦後援・場の提供 ⑧その他（ ）
(2)令和2年度に向け、さらに適した協働の形態とするために「考え」「気付いた」点

7 課題
(1)平成31年度に課題とした内容（「平成30年度に実施した仕事」の振り返りシート7課題（2）を転記）
独立柱の街路灯を道路パトロール等により現地調査をし、予算の範囲内で支柱の建替え及び塗装をすること。
(2)(1)の課題解決に向けた取組や、事務改善など、平成31年度に実施したこと。
LED化後ランプの交換頻度は減少したが、年々、劣化していくアームや支柱の修繕（建替え・塗装）及びメンテナンスは発生する。費用を抑えて十分な効果を得られるよう、状況を適切に判断し対応した。
(3)(2)を踏まえた今後の課題（仕事の最適化・合理化の提案）
限られた予算の中で、劣化しているアームや支柱の修繕について、優先順位を設定し、毎年数ヶ所ずつ対応していくことが必要である。

8 施策貢献状況（この仕事は、総合計画（基本計画）に掲げる課題の解決手段になっているか。）
施策名：基本計画（道路・交通の整備）
 なっている 環境の変化等により成果が減少している 類似の事業が他にあり改善の余地がある（事業名： ）

9 今後の方向性
(1)仕事の方向性（「7 課題（3）」の課題及び「8 施策貢献状況」を踏まえた具体的な改革・改善案など）
 拡大 現状維持 縮小 休止 廃止
【取組内容】
・劣化したアームや独立柱は建替えが必要か、塗装で対応可能か、灯具を近くの電柱に移設共架できる場所なのか等優先順位を検討し、現状に則した判断をし、対応していく。
・新設要望があった場合には、街路灯の設置間隔について現地調査を行い、照度が不足しているか否か等適切な照度の配置となるように対応する。
(2)上記(1)の取組にあたり、克服すべき問題点、必要な調整・準備等
年々、アームや支柱の経年劣化が進行してきているとともに、宅地開発事業等による新規街路灯設置が毎年増加している。このようなことから、予算の範囲内において適切に新規設置や現状の管理を行っていくことが必要である。